



# 学校だより

和歌山市立四箇郷小学校

平成29(2017)年度: No.2

4月号No.2 文責/校長: 上田 仁

あの日のあのタイミングには驚かされました。何かというと警報発表のこと。危機管理に対する心構えは頭の中にあれども、実際となるとそうもいきません。

今回のことで身を持って感じたことをいくつか紹介します。まずは、お家の方からの問い合わせの電話が少なかったこと。児童の在籍数451人から考えて、警報発表について

のお便りをまだ配付していなかったにもかかわらず、思いのほか少なかったです。その上、問い合わせの際には、ていねいにお礼を言っていただく方がかりであったこともご報告します。またひとつ素敵な四箇郷を見つけました。感謝いたします。

No Image

No Image

さて、日本語は実に奥深く意味深いものだとつくづく思います。風は「香る」ではなく「薫る」ものだと、PCで入力・変換してはっと気付いた始末。この歳になって言葉や文字の大切さを再認識しました。

4月から5月にかけて、世の中どこもかしこも忙しくて大変です。もちろん本校も同様。夜9時までいて次の朝の7時にはもう職員室で座っている職員もいます。子ども達とふれ合い、一緒に過ごす時間以上に事務的な仕事を要求されるのが今の学校現場ですが、そこは若さで乗り切っている感も見受けられます。しかし、いくら体力・気力があっても何日もそれが続けば疲れるのはあたり前。私(わたくし)なんかはすぐに表情や言葉に出てしまいますが…。

希望と期待と夢と願いをもって新年度を迎えたお子様とお家の方に対して、ことばを大切にしてお伝えできればと、毎年この時期の夜中にふと目が覚めて思いをめぐらす四箇郷の晩春です。

もうすぐ訪れる風薫る5月が、身も心ともによき季節となるよう、忙しいこの時期だからこそふり返らなければなりません。